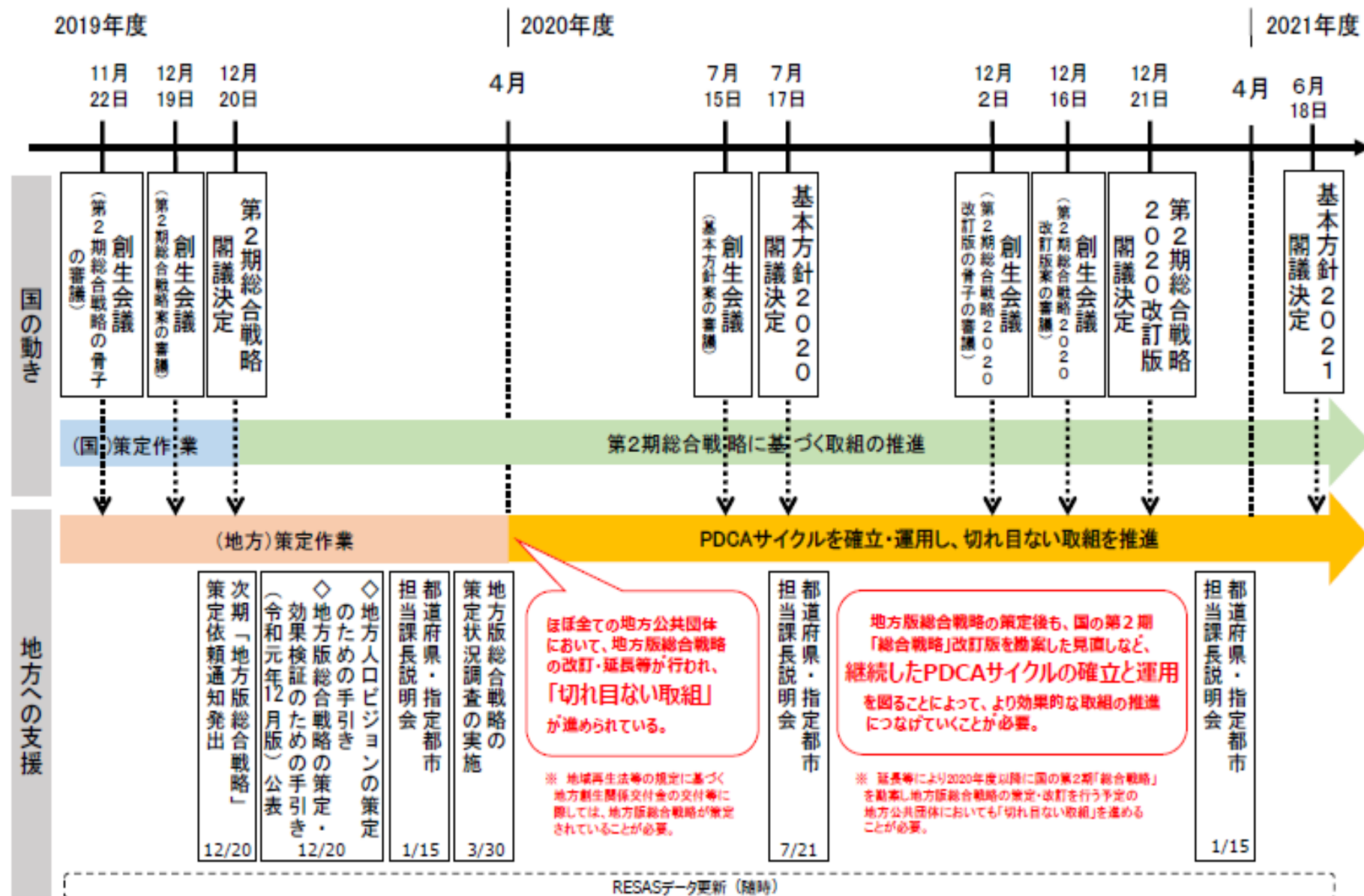


“スマートシティやつしろ”の実現に向けた取組状況

令和3年12月

切れ目ない取組の推進

1



【新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた地方創生の今後の方向性】

- ① 感染症による意識・行動変容を踏まえた地方へのひと・しごとの流れの創出
- ② 各地域の特色を踏まえた自主的・主体的な取組の促進

<国の姿勢>

各地域の自主的・主体的な取組を基本としつつ、地域のみでは対応しきれない面を支援。

目指すべき将来

将来にわたって
「活力ある地域社会」
の実現

人口減少を和らげる

結婚・出産・子育て
の希望をかなえる

魅力を育み、
ひとが集う

○地方に住みたい希望の
実現

地域の外から稼ぐ力を
高めるとともに、
地域内経済循環を実現する

人口減少に適応した
地域をつくる

「東京圏への一極集中」
の是正

基本目標

主な施策の方向性

横断的な目標

1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする

○地域の特性に応じた、生産性が高く、
稼ぐ地域の実現

○安心して働ける環境の実現

○地域資源・産業を活かした地域の競争力強化

○専門人材の確保・育成

○働きやすい魅力的な就業環境と担い手の確保

2 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

○地方への移住・定着の推進

○地方とのつながりの構築

○地方移住の推進

・地方創生テレワークの推進

○若者の修学・就業による地方への定着の推進

・魅力ある地方大学の実現と地域産業の創出・拡大

○関係人口の創出・拡大

・オンライン関係人口など、新たな関係人口の創出・拡大

○地方への資金の流れの創出・拡大

・企業版ふるさと納税(人材派遣型)の創設

3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

○結婚・出産・子育てしやすい環境の整備

○結婚・出産・子育ての支援

○仕事と子育ての両立

○地域の実情に応じた取組の推進

4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

○活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保

○質の高い暮らしのためのまちの機能の充実

○地域資源を活かした個性あふれる地域の形成

○安心して暮らすことができるまちづくり

多様な人材の活躍を推進する

- 多様なひとびとの活躍による地方創生の推進
- 誰もが活躍する地域社会の推進

新しい時代の流れを力にする
○地域におけるSociety 5.0の推進
スーパーシティ構想の推進など、地域におけるデジタル・トランスフォーメーションの活用による
地域課題の解決
○地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり



第2期「八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（計画期間：2021年度～2024年度）概要版

<地方創生と第2期総合戦略>

第2期「八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口減少克服に主眼を置いた施策を重点的に推進するために策定するものであり、若者を中心に、多様な世代が生き生きと暮らし、働き、子育てできるまちを目指します。

<基本的な考え方>

Society5.0において人と企業に選ばれるまち“やつしろ”の実現を目指し、次の3つの考え方を基本として取組みを推進していきます。

- ◆AI、ICT、ロボット、ビッグデータ等を活用したDXを、誰一人として取り残さない、人に優しい形で推進します。
- ◆令和2年7月豪雨からの復興、新型コロナウイルスによる社会の変容を踏まえた地方創生を目指します。
- ◆SDGsの理念に沿った地方創生の取組を進め、持続可能な“やつしろ”の実現を目指します。



基本戦略Ⅰ

住みたいまち

重要業績評価指標

[住み続けたいと思う市民の割合] 76.8%⇒80.0%
[人口社会増減率] △0.26%⇒△0.20%

1 災害に強く安心して暮らせるまちづくり

- (1) 多様な担い手による防災の推進
 - ◆防災人材の確保・育成 ◆自主防災組織の活躍推進
 - ◆防災協力企業等の確保
- (2) 防災・減災のための基盤整備
 - ◆多様な避難先の確保 ◆各地域を結ぶ道路網の強靱化
 - ◆地域イントラ（回線・サーバ）の冗長化
- (3) 先進技術を活用した防災・減災の推進
 - ◆ICTやAIを活用した防災情報の発信・収集体制の構築
 - ◆スマート避難所の導入 ◆防災への新たな技術の導入促進

2 全ての人が利便性を享受できるデジタル化の推進

- (1) 交通・決済等の生活面におけるデジタル化の推進
 - ◆誰もが利便性を実感できる「デジタル活用支援」
 - ◆新技術の導入による移動の利便性向上
 - ◆自家用有償旅客運送など多様な輸送サービスの充実 等
- (2) いつでも・どこでもつながる市役所づくり
 - ◆マイナンバーカードの普及促進 ◆行政手続きの電子化
 - ◆オープンデータ化の推進 ◆市政情報を届ける広報ツールの多様化等
- (3) 先進技術による庁内業務の効率化
 - ◆業務の自動化・効率化 ◆内部業務のデジタル化
 - ◆行政のDX化に向けた組織体制の強化及び人材の育成

3 地域資源を活かした多様な交流の実現

- (1) スポーツを活かした交流人口の拡大
 - ◆スポーツ合宿・スポーツ大会の誘致 ◆スポーツツーリズムの推進
 - ◆ホストタウン推進による相互交流
- (2) 歴史・文化を活かした交流人口の拡大
 - ◆日本遺産を活かした交流促進 ◆民俗伝統芸能伝承館の整備活用
 - ◆八代城築城400年の機会活用 等
- (3) 多文化共生のまちづくり
 - ◆ICTを活用した情報発信・多言語化の推進 ◆国際交流協会の設立
 - ◆日本人市民・外国人市民が相互理解を深める場の創出
- (4) 物産をきっかけとした魅力向上
 - ◆市内物産館の活用 ◆SNSを活用した情報発信
 - ◆ふるさと納税事業の推進とマーケティングツールとしての活用
 - ◆物産展や体験イベントによる特産品に触れる機会の創出

基本戦略Ⅱ

働きたいまち

重要業績評価指標

[若者・子育て世代が5年後に帰ってくる人数] 351人⇒360人
[事務職・IT関連職の求人倍率] 0.38⇒0.50
[高校新卒者管内就職意向割合] 26.8%⇒30.0%

1 挑戦する人と企業を応援するまちづくり

- (1) 中心市街地を核としたICT産業の集積と人材の育成
 - ◆空き店舗等を活用したIT関連産業の集積
 - ◆企業が求めるICT人材の育成
 - ◆コワーキングスペース・アーケード空間を活用したイベント開催
- (2) 関係人口の創出・拡大とU/Iターン受入れ
 - ◆地域企業における都市部の副業人材活用の促進
 - ◆市内各地区でのリモートワークの推進とアクセス強化
 - ◆求人情報と移住・定住情報の一元化 等
- (3) 地域企業の成長支援
 - ◆やつしろ未来創造塾による若手経営人材の育成
 - ◆地域をリードする企業の育成 ◆地域企業のDX導入支援
 - ◆地域企業の雇用確保に対する支援 ◆技術の継承に対する支援

2 稼げる農林水産業の推進

- (1) スマート農林水産業の推進
 - ◆農林水産業への先端技術の導入支援
 - ◆AIを活用した出荷予測による戦略的な生産・販売の推進
 - ◆企業の新技術実証試験等への連携・協力 等
- (2) 新規就農者に対する支援
 - ◆八代農業塾による新規就農者の育成
 - ◆クラウドを活用した営農相談・技術支援システムの導入
 - ◆多様な農業形態に応じた就農支援 ◆空き農地等の情報提供手段の構築
- (3) 農林水産物のブランド確立・販路拡大
 - ◆民間ECサイト等のITを活用した販路の開拓
 - ◆販路拡大のための拠点づくり
 - ◆消費者ニーズを踏まえた新商品開発

3 南九州のゲートウェイ「八代港」の利用促進

- (1) 航路誘致へのポートセールスと八代港を活用する企業の誘致
 - ◆企業訪問等によるポートセールス ◆八代港を活用する企業の誘致
- (2) くまモンポート八代の利用促進
 - ◆くまモンポート八代でのイベント開催や誘致による利用促進
 - ◆くまモンポート八代周辺施設との連携事業 等
- (3) クルーズ船による地域の活性化
 - ◆広域連携による周遊ルートの開発及びPR活動
 - ◆官民一体となったおもてなしの推進 等

基本戦略Ⅲ

育てたいまち

重要業績評価指標

[希望出生率] 1.88⇒2.00
[子ども女性比率] 20.8%⇒25.5%
※15-49歳女性人口に対する0-4歳人口の比。
出生率の代替指標。

1 次代を担う子供の育成

- (1) 1人1台のタブレットPCを活用した新たな時代を豊かに生きる力の育成
 - ◆EdTechの活用による学びの個別最適化及び課題解決能力の育成
 - ◆オンライン学習の実施等による学びの保障の実現
 - ◆家庭との情報連絡体制の構築
 - ◆校務支援システムを活用した校務の効率化の推進
 - ◆ICTの活用を支える体制及び環境づくり
- (2) 子供の生きる力を育成する学校・園教育の充実
 - ◆学力・心理面を測定するテストの実施と結果に基づいた対策
 - ◆コミュニティ・スクール等による地域との連携・協働の推進
 - ◆多様な背景をもつ児童生徒等を支える支援員の適切な配置と充実
 - ◆やつしろの未来を担う子供たちの郷土愛の育成 等
- (3) 快適な教育環境の整備
 - ◆教育環境の質的な向上を図る整備 ◆地震等の災害に備えるための整備
 - ◆老朽化・長寿命化対策を図る整備

2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり

- (1) 結婚・妊娠から子育て期にわたる包括的な支援体制の充実
 - ◆結婚の希望をかなえる支援体制の充実
 - ◆子育て世代包括支援センターによる支援体制の強化
 - ◆ICTを利用した相談体制及び情報発信の強化
- (2) 子育て世帯の経済的負担の軽減
 - ◆充実したこども医療費助成の実施
 - ◆第三子以降の保育料及び副食費の無料化の実施
- (3) 子育て世帯の精神的負担の軽減
 - ◆こどもプラザを拠点等とした親子の交流促進
 - ◆子ども家庭総合支援拠点による支援体制の充実

3 仕事と家庭を両立しながら楽しく子育てできるまちづくり

- (1) ICTを活用した子育て支援の推進
 - ◆保護者のニーズに応じた情報発信
 - ◆子育てサービスを利用しやすい環境整備
- (2) 質が高く利便性の高い保育環境づくり
 - ◆保育士等の事務処理等の軽減による保育の質の向上
 - ◆病児・病後児保育の利用しやすい環境整備
- (3) 子育て中や子育て後でも就労しやすい環境づくり
 - ◆リカレント教育の推進 ◆キャリアチェンジの支援

スマートシティとは・・・

ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント(計画、整備、管理・運営等)の高度化により、都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域のこと。Society 5.0の先行的な実現の場と定義されている。

(内閣府HPより)

第2次八代市総合計画

基本構想

将来像、基本目標、施策の大綱

基本計画

分野ごとの施策

八代市人口ビジョン

八代市総合戦略

総合計画に掲げる施策のうち、「人口減少克服」「地方創生」に資する施策を推進

それぞれの分野の個別計画

総合計画に掲げる施策のうち、それぞれの分野の施策を推進

ICT・デジタル技術の活用により各種計画を下支えする包括的なもの

八代市デジタル化推進基本計画

基本理念

「安全・安心で、持続的に発展するまち“スマートシティやつしろ”」

取組の方向性

地域課題の解決

人口減少や少子高齢化による労働力の不足や自然災害からの復旧・復興など、本市では様々な課題を抱えています。
進化し続けるICT等の先端技術の活用により、あらゆる領域において横断的に、地域課題の解決につなげます。

行政サービスの変革

デジタル技術の活用により行政事務の効率化などを進めるとともに、市民目線で分かりやすく、利便性の高い行政サービスへ変革します。
また、より多様化・複雑化する市民ニーズにも、対応した行政サービスを提供します。

協働と連携によるデジタル社会の実現

デジタル社会の実現に向けて、市民と協働して取り組みます。また、先端技術を持つ企業・大学・高専などや国・県・近隣自治体との連携を図ります。
これらの取組を広く波及させることで、誰もが参加し、ゆとりと豊かさを実感できる社会を実現します。

施策

これから策定する部分

3 月 10 日
八代市デジタル化推進基本計画（草案）の策定
（現行の計画は平成 27 年度策定）

各種計画におけるデジタル技術の活用については、庁内会議で検討中



デジタル化推進基本計画に盛り込む主な事業(検討中)

①地域課題の解決(防災、農業、商工、観光等)

- ✓ 準天頂衛星やドローンを活用した衛星安否確認サービス(Q-ANPI)等の導入に向けた実証(災害時の通信サービスが途絶した場合の避難者等の確実な安否確認、ハイブリッドカー用電源キットの活用)
- ✓ スマート避難所の導入に向けた実証等(顔認証による避難所運営支援、スマホ、タブレット端末、デジタルサイネージ等による支援物資、罹災証明等の行政手続情報の一括提供等)
- ✓ 稼げる農業及び担い手確保に向けたスマート農業の推進(若手農業者等によるリビングラボの開催、スマート農業技術の導入)
- ✓ IoT機器やドローン等を活用した鳥獣被害対策の効率化支援
- ✓ ネット通販、航空会社等との連携したECサイト活用等による販路拡大
- ✓ 観光統計データのダッシュボード化、VR技術等を活用した体験型観光サービスの提供

②行政サービスの変革

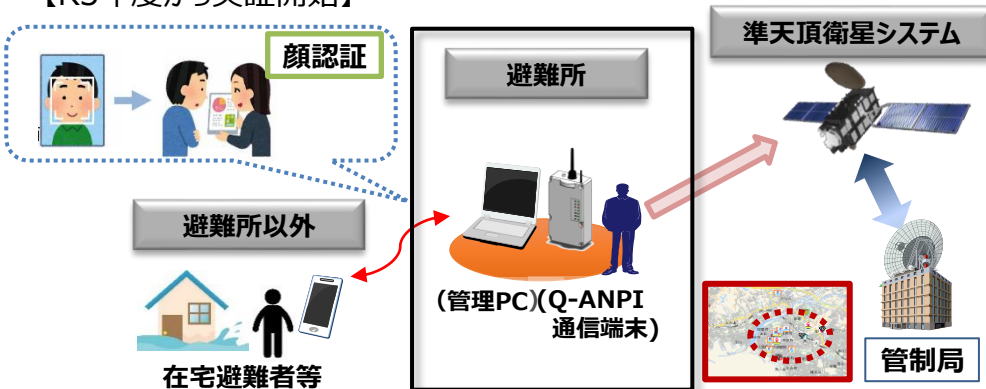
- ✓ マイナンバーカードを活用したオンライン申請、キャッシュレス決済の導入(マイナンバーカードの個人認証としての活用、新庁舎開庁に合わせた名札としての活用、入退出管理等)
- ✓ 公共施設のオンライン予約・決済の導入
- ✓ 窓口業務へのRPA、AIの活用及び非接触型ディスプレイの導入(窓口業務等への導入による効率化支援、新型コロナ対策)
- ✓ リモートワークの推進(Web会議、チャット、電子決裁システム)
- ✓ 電子入札の拡充(物品・委託を含む全ての入札に活用)

③協働と連携によるデジタル社会の実現

- ✓ 市民及び企業からの相談等に対応するやつしろ×Techコンソーシアム(仮称)の設立
- ✓ DX人材育成講座の拡大、デジタル活用支援推進事業を活用した情報リテラシー向上

防災：スマート避難所、準天頂衛星等を活用した安否確認

- 大規模災害において固定・携帯電話が途絶した場合でも、衛星安否確認サービス(Q-ANPI)により、避難所や住宅地の避難者の安否情報を収集。
- 避難所の受付業務を顔認証で実施し本人確認や入退出管理を行う。
【R3年度から実証開始】



人材育成・情報リテラシー：DX人材育成講座等

- 地域課題の発見とDXの活用による解決方を学ぶことにより、職員がデジタル化を推進する力を養うよう人材研修を実施。【R3年度実施】
- 市民を対象として、地域企業と連携し、スマートフォンの基本的な利用方法やスマートフォンによる行政手続に関する出張講座を開催。【R4.1から実施予定】



行政：マイナンバーカードの活用・キャッシュレス化

～新庁舎開庁(R4.2)を契機に市民サービス向上と行政事務の効率化の両面からスマート化を推進～

- 新庁舎内の市民交流エリアの利用申請・支払いをデジタル化
- モバイルバッテリーシェアリングサービスの設置(平時には観光PRとして、災害時には非常用電源として活用)



申請はオンライン

支払はキャッシュレス

- マイナンバーカードを名札として活用、会議室等の入退出時の利用検討



カード利用の促進

職員が利用に慣れる



その他：推進体制・検討会等

- 「やつしろ×Tech(クロステック)コンソーシアム」の設置。【R4.1設置予定】
- 郵便局との連携強化によるスマートシティの具現化に向けた検討会の設置。
【R3.11設置】
- 稼げる農業及び担い手確保に向けたスマート農業の推進【R3～5年度予定】
- IoT機器を活用した鳥獣被害対策に関する効率化支援の強化。【R4年度予算措置予定】
- AI・RPA等を活用した自動化・効率化を図る業務の更なる拡大の検討
【R3年度検討】
- 外国人市民と市職員が円滑に窓口相談ができるよう多言語通訳システムの導入【R3.10から実施済】

① 八代市デジタル化推進会議

・デジタル化推進基本計画の策定、改定等に関し必要な事項を検討し、市長に対して提言を行う。
10名の委員で構成。

② 八代市デジタル化戦略会議

・デジタル化推進基本計画の策定にたって、地域及び行政課題の整理、課題解決に有効なデジタル技術の特定、計画策定後の進捗管理等を行う庁内組織。(政策審議監及び関係部課長等で構成)

③ やつしろ×Tech(クロステック)コンソーシアム

・市が策定するデジタル化推進計画に盛り込む施策案に関して、専門的知見から助言を行うとともに、市民、事業者等から課題解決のためにDXの導入検討を行う際にアドバイスを行う。

